

導入事例集

— DX人材育成研修 —

会社概要

会社名	株式会社リンプレス
代表者	代表取締役社長 三宮 壮
事業内容	DX人材育成支援・コンサルティング・内製化支援
資本金	5,000万円
設立	2017年4月
株主	株式会社リンクレア（100%）
所在地	（本社）東京都港区港南2-16-3 品川グランドセントラルタワー （拠点）大阪市北区小松原町2番4号 大阪富国生命ビル25階

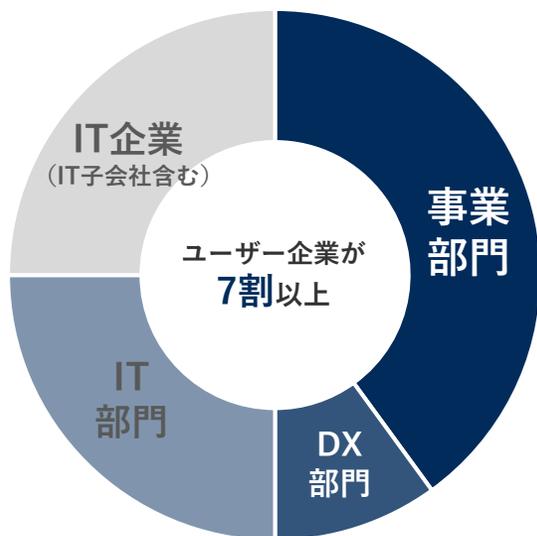
リンプレスの支援実績

支援企業数

4,000社以上

※リンクレアグループとしての実績

支援企業の部門割合



主な支援企業



提供プログラム一覧

DXテーマ/アイデア創出

- [デザイン思考研修](#)

プロジェクトマネジメント・リーダーシップ

- [4Days実践・体験型「TREND-PL®」](#)
- [1Day講義型「PL教室」](#)
- [1Day講義型DX推進リーダー育成研修「LDP」](#)

データ分析/利活用（実装）

- [データサイエンス基礎研修](#)
- [Pythonハンズオントレーニング](#)
- データ利活用セミナー
- データ分析ハンズオン
- データベース基礎
- Excel重回帰分析研修

IT・システム企画

- [2Days実践・体験型「STUD-SA®」](#)
- [1Day講義型「SA教室」](#)

DX実践/DXリテラシー

- [DX課題解決型実践プログラム](#)
- [DXリテラシー研修](#)

IT基礎

- [若手・中堅社員向けIT基礎トレーニング「Linpress Academy」](#)
- [情報セキュリティ研修](#)
- [PowerPoint研修](#)
- [Excel研修](#)

事例の詳細を知りたい方へ

赤枠内のURLをクリックいただくと、
より詳細なインタビュー記事を読覧することが可能です。

01

第一三共株式会社（製薬業）

現場主導のDXを実現するため、
業務部門がIT企画立案の進め方を学ぶ



 Daiichi-Sankyo 第一三共株式会社様

テーマ	IT・システム企画研修
事業内容	医薬品の研究開発、製造、販売等
従業員数	約19,000名（第一三共グループ）

事例URL <https://www.linpress.co.jp/case/01>

目的

- 参加者がIT企画立案を身近なものとして捉えることができるようになる
- 業務部門が企画段階から積極的に参加できるようになる
- 方法論やフレームワークをもとに体系的に学ぶ

課題

- ・業務部門がIT部門やITベンダにシステム開発や導入を丸投げしてしまうケースがある
- ・現場の社員自らが課題の洗い出しやIT企画立案を実行し、DXを主導してもらいたい
- ・IT企画経験が少ない業務部門にも実践を通じて理解を深めてもらいたい

支援の成果

- ・参加者のレベルにあわせたテキスト・カリキュラムを作成することで、IT企画経験が少ない方にとっても適切なレベルで研修を実施できた
- ・講義だけでなく参加者自ら手を動かす演習中心の研修を実施することで、学んだ内容をすぐに業務で活用できるようになった
- ・システム開発の場面に限らず、様々な場面で活用できる体系的なフレームを学ぶことができた

Appendix

目次

01 | 第一三共株式会社

IT・システム企画研修

02 | 株式会社八十二銀行

IT・システム企画研修

03 | 東洋船舶株式会社

IT・システム企画研修、プロジェクトマネジメント研修

04 | 株式会社ゼンリン

デザイン思考研修
IT・システム企画研修、プロジェクトリーダー研修

05 | ヤマエグループホールディングス株式会社

デザイン思考研修、DXリテラシー研修

06 | 株式会社キタムラ

IT・システム企画研修、プロジェクトリーダー研修
顧客分析研修

07 | 株式会社ワークマン

Pythonハンズオントレーニング
機械学習を用いたデータ利活用のOJT、データ利活用アドバイザー

08 | 株式会社ティーガイア

データ利活用人材育成研修、伴走型コーチング

09 | コープデリ生活協同組合連合会

システム開発標準策定支援
異動者向けIT基礎トレーニング、プロジェクトリーダー研修

| 支援実績のご紹介

第一三共株式会社（製薬業）

01

現場主導のDXを実現するため、 業務部門がIT企画立案の進め方を学ぶ



 第一三共株式会社様

テーマ IT・システム企画研修

事業内容 医薬品の研究開発、製造、販売等

従業員数 約19,000名（第一三共グループ）

事例URL <https://www.linpress.co.jp/case/01>

目的

- ✓ 参加者がIT企画立案を身近なものとして捉えることができるようになる
- ✓ 業務部門が企画段階から積極的に参加できるようになる
- ✓ 方法論やフレームワークをもとに体系的に学ぶ

課題

- 業務部門がIT部門やITベンダにシステム開発や導入を丸投げしてしまうケースがある
- 現場の社員自らが課題の洗い出しやIT企画立案を実行し、DXを主導してもらいたい
- IT企画経験が少ない業務部門にも実践を通じて理解を深めてもらいたい

支援の成果

- 参加者のレベルにあわせたテキスト・カリキュラムを作成することで、IT企画経験が少ない方にとっても適切なレベルで研修を実施できた
- 講義だけでなく参加者自ら手を動かす演習中心の研修を実施することで、学んだ内容をすぐに業務で活用できるようになった
- システム開発の場面に限らず、様々な場面で活用できる体系的なフレームを学ぶことができた



リンプレスを選んだ理由

ビジネスとしてやりたいこと、システムでやりたいことを整理するのに有効な体系立てられた考え方・方法論がある

インハウス研修の場合は、実施内容を柔軟にカスタマイズすることが可能であること



お客様の声

自分たちの身近な業務を題材にテーマを選定し、様々なアレンジやカスタマイズをして作り込むことができたので、参加者同士のディスカッションも活発になりましたし、実践に近い形で研修を実施することが出来た点は良かったと考えています。

実施した研修内容をご紹介します

事業部門向けIT・システム企画実践研修

期間	1日
形式	対面（講義+演習）
人数	約20名
対象	事業部門

リンプレスが実施したこと

- 第一三共様独自の「演習ケース」作成
- 講義+ワークショップ形式の演習実施
- 振り返りおよびフォローアップ

事業部門自らデジタル・IT化を企画し、スピード感のあるDXの実現へ



 **八十二銀行** 株式会社八十二銀行様

テーマ IT・システム企画研修

事業内容 銀行業（預金業務・貸出業務・為替業務等）

従業員数 3,041名（2023年3月31日現在）

事例URL <https://www.linpress.co.jp/case/05>

目的

- ✓ 自分たちがデジタル・IT化を企画する際にやるべきことを理解する
- ✓ 現状を正しく認識し、取り組むべきテーマを明確に設定できるようになる
- ✓ 企画に携わる人材がその後の工程を意識して目的に沿ってフローを組み立てられるようになる

課題

- ・ 長年、社内でシステム開発を内製してきた結果、開発時の業務要件策定から事業部門がシステム開発部門へ任せきりになっていた
- ・ 現場が開発部門に対して自分たちが何をしたいか伝えられない、伝えつもりでも開発部門が意図を汲みきれず負担が生じていた

支援の成果

- ・ 非IT側の人材にも理解しやすい考え方やフレームワークに沿った研修であったため、自分たちがやるべきことが体系的に理解できた
- ・ 「背景確認シート」などの成果物フレームを活用することで、開発に入る前の論点整理ができるようになった
- ・ 企画側の考えが大きく整理され、企画そのものへの意識が変わった



リンプレスを選んだ理由

経営的な視点で目標を立てることや、開発に入る前の論点整理として活用できるフレームが用意されていた

非IT側の人材がIT側の人材の考えを汲み取るための研修内容となっていた



お客様の声

特に受講生からの評判が良かったのが「背景確認シート」です。1枚のシートの中で自分の考えを整理することで、現状を正しく認識することができました。また、あるべき姿を定め、問題点とニーズを捉えて、自分の取り組むべきテーマを明確に設定することが可能となったほか、決裁権限者等への説明もできるようになりました。

実施した研修内容をご紹介

事業部門向けIT・システム企画研修

期間	1日（複数回開催）
形式	対面（講義+演習）
人数	1開催あたり約20名
対象	事業部門

リンプレスが実施したこと

- 講義+ワークショップ形式の演習実施
- 演習結果に対する添削
- 振り返りおよびフォローアップ

東洋船舶が目指す真のDXの姿とは ～「全社員IT武装化」実現に向けた取り組みに迫る～



テーマ	IT企画・プロジェクトマネジメント研修
事業内容	船舶の用船仲介、運航サービス 船舶の建造監理、技術コンサルティング等
従業員数	181名
事例URL	https://www.linpress.co.jp/case/07

目的

- ✓ 現場自ら“業務プロセスを構築、改革できる力”を身につける
- ✓ 「全社員IT武装化」実現に向けて、参加者の意識や行動面での変化を促す
- ✓ 実務で活用できる実践的なスキルを身につける

課題

- ・ 会社規模・事業規模の拡大、新規事業の増加につれて、情報システム部門の負担が増え、スピード感のある対応が難しくなっていた
- ・ 現場主導でDXを推進してもらいたいが、課題分析や業務プロセスの改善経験が少なく実践ができていない状態であった

支援の成果

- ・ 「全社員IT武装化」のはじめの一歩として、実践的な学びを得ることができた
- ・ 複数の部署のメンバーが一緒になって研修を受講したので、参加者間の「共通言語」ができた
- ・ 業務プロセスの構築に向けた課題分析の仕方やプロジェクトの推進方法など、新たな気づきを得ることができた



リンプレスを選んだ理由

“現場部門に対して実践の場となる研修を実施したい”という要望にも賛同いただき、そしてそれをオリジナルの研修として形にしてくれた点が大きかった。

我々からの要望をもとに、既存のカリキュラムを柔軟にカスタマイズしてくれたことも決め手となりました。



お客様の声

今回は複数の部署のメンバーが一緒になって研修を受講したので、参加者間の「共通言語」ができた点も良かったと思います。

現場から『なぜシステムを作るまでにここまで時間がかかるのか』と言われることもなくなりましたし、そういった意識や行動面での変化もあると思います。

実施した研修内容をご紹介します

事業部門向けIT企画・プロジェクトマネジメント研修

期間	IT企画：2日、プロジェクトマネジメント：2日
形式	対面（講義+演習）
人数	約30名
対象	事業部門

リンプレスが実施したこと

- ・ 講義+ワークショップ形式の演習実施
- ・ 振り返りおよびフォローアップ

株式会社ゼンリン（情報・通信業）

ゼンリン独自のデジタル人材育成プログラムで「伝道師」を育成！社員の主体性を高めるための仕組みとは



ZENRIN 株式会社ゼンリン様

テーマ	デザイン思考研修 IT企画研修・プロジェクトリーダー研修
事業内容	独自の技術による地図情報の収集・管理 地図情報を元にした多様なサービス展開
従業員数	2,426名（2024年3月31日現在）
事例URL	https://www.linpress.co.jp/case/10

目的

- ✓ デジタルやIT/DXに特化した教育カリキュラムを導入することで、技術者としての総合的な技術力を底上げする
- ✓ デザイン思考という新たな視点を取り入れることで、アイデア発想や考えることの"楽しさ"に気づいてもらう

課題

- IT/DXに特化した教育カリキュラムが少ない
- 新しいアイデアの発想や企画ができる社員を増やしたい

支援の成果

- デザイン思考を身につける社員が増えたことで、アイデアの質が高まった
- 社員がDXに取り組むきっかけをつくることができた
- 研修を通じてコミュニケーションが活性化された



リンプレスを選んだ理由

従来の一般的な教育カリキュラムとは違った新たな気づきやきっかけを得ることができると感じたことが大きいです。

講師の方々には当社の要望に応じて、最適な演習テーマを設定していただきましたので、参加者がデザイン思考をより身近なものとして捉えることができましたと思います。



お客様の声

引き続き、時代にマッチした研修を実施していただきたいと思います。今回のデザイン思考研修のように、少し視点の違った研修はすごく良いと思う一方、昔から実施されている「プロジェクトリーダー研修」や「IT・システム企画研修」に関しても、アジャイル開発などの新たな要素を取り入れながら進化していくことを期待しています。

実施した研修内容をご紹介します

個社研修

選抜者向けデザイン思考研修

期間	1日（複数回開催）
形式	対面（講義+ワークショップ）
人数	1開催あたり約20名
対象	事業部門・IT部門など

リンプレスが実施したこと

- ・ 講義+ワークショップ形式の演習実施
- ・ ゼンリン独自の演習テーマ作成
- ・ 振り返りおよびフォローアップ

公開講座

IT・システム企画研修「STUD-SA®」 「SA教室」
プロジェクトリーダー研修「TREND-PL®」 「PL教室」

ヤマエグループホールディングス株式会社（卸売業）

DX実現に向けた"変革マインド"を醸成！ ヤマエグループが目指す「全社員デジタル人財化」に向けた取り組み



ヤマエグループホールディングス株式会社様

テーマ	デザイン思考研修、DXリテラシー研修
事業内容	持株会社として食品、住宅・不動産関連の卸売業や製造業等を営む子会社等の経営管理およびそれに附帯または関連する業務
従業員数	5,997名（2025年5月現在）
事例URL	https://www.linpress.co.jp/case/09

目的

- ✓ ヤマエグループ全体のDX/変革をヤマエグループホールディングスのデジタル戦略部が中心となって強力に推進する
- ✓ 「全社員デジタル人財化」に向け、IT・DX基礎知識を習得し、DXマインドを醸成

課題

- DX推進スキル/マインドを持った人材が不足
- DXを自分事としてなかなか捉えられていない
- 社内にDXリテラシー向上に適した育成プログラムがない

支援の成果

- 全社員が一定レベルのDXリテラシーを身につけることで、グループ全体のDX推進に向けたマインドセットを獲得
- 自社のレベルに合わせたプログラムを通じてDX推進に必要なスキルが身についた



リンプレスを選んだ理由

決め手となった最大のポイントは当社の要望に応じて柔軟にカスタマイズしていただけたことです。

すでに完成されたプログラムをご提案いただくことが多いのですが、リンプレスは自社のニーズに合わせて柔軟なカスタマイズが可能だというのが魅力的でしたね。



お客様の声

これまでデジタルに特化したプログラムが少なかったので、受講した社員からは「今後も定期的にやってほしい」「会社が求めるスキルやレベル感が理解できた」「社員だけではなく派遣社員やパート社員にも受講させたい」など前向きな意見が数多くあり、私たちとしては非常に嬉しかったですね。今後も当社の期待を上回る提案をして欲しいです。

実施した研修内容をご紹介します

個社研修 選抜者向けデザイン思考研修

期間	1日	形式	対面（講義+ワークショップ）
人数	約20名	対象	事業部門・IT部門・DX部門等

リンプレスが実施したこと

- ・ 講義+ワークショップ形式の演習実施
- ・ ヤマエグループホールディングス独自の演習テーマ作成
- ・ 振り返りおよびフォローアップ

個社研修 DXリテラシー研修（動画提供）

期間	-	形式	オンライン（E-learning形式）
人数	約6,000名	対象	グループ全社員向け

リンプレスが実施したこと

- ・ ヤマエグループホールディングス独自のカスタマイズを加えた動画コンテンツ作成および提供

実践型研修を通じて「カメラのキタムラ」のDX推進人材育成を支援



キタムラ 株式会社キタムラ様

テーマ	IT企画研修・プロジェクトリーダー研修 顧客分析研修
事業内容	「カメラのキタムラ」「スタジオマリオ」等の事業の付加価値向上に繋がる事業・マーケティング・サプライチェーンなどの戦略企画・立案、実行支援等
従業員数	6,374名（2024年3月末現在）
事例URL	https://www.linpress.co.jp/case/08

目的

- ✓ DX推進に必要なスキルを体系的に身につける
- ✓ 他流試合を通じて新たな気づきを得る
- ✓ 実務でのアウトプットに繋がる気づきを得る

課題

- DX推進のための基礎となる知識が十分に身につけていない
- チームメンバー内のスキルや得意分野に差があるため、特定のメンバーに負荷がかかってしまう
- オンライン研修では参加者が受け身のスタンスになりがちで、学んだ内容をすぐに実務で活用することができなかった

支援の成果

- データ分析やプロジェクト推進、IT・システム企画など、DX推進に必要なスキルを幅広く学ぶことでスキルの標準化に繋がった
- 他社と一緒にグループ討議やワークを実施することで、コミュニケーションの活性化や、他社と比べて自社がどうかを知る貴重な機会になった
- 実際に手を動かしながら学ぶことで、実践に近い形で業務に役立つスキルやノウハウが習得できた



リンプレスを選んだ理由

他社と一緒に実践形式で学べるというのは導入の決め手となったポイントのひとつです。

リンプレスの研修はカスタマイズ性も高く、自社の課題や研修実施の目的に合ったカリキュラムをご提案いただいたので安心して研修を任せることができました。



お客様の声

リンプレスの研修は単に講義で知識を身につけるのではなく、より実践に近い形で、業務に役立つスキルやノウハウが習得できるので、当社のような課題感をお持ちの企業はぜひ取り入れてみることをお勧めします。

実施した研修内容をご紹介します

個社研修

顧客分析実践研修（Python・データ分析）

期間	5日間
形式	対面（講義+ハンズオン）
人数	約10名
対象	IT部門など

リンプレスが実施したこと

- ・ 講義+ハンズオン形式の演習実施
- ・ 振り返りおよびフォローアップ

公開講座

IT・システム企画研修「STUD-SA®」

プロジェクトリーダー研修「TREND-PL®」

株式会社ワークマン（小売業）

研修からアドバイザーまで一貫したサービスを通じて"データ利活用を自走できる組織"への変革を実現！



株式会社ワークマン様

テーマ	<ul style="list-style-type: none"> Pythonハンズオントレーニング 機械学習を用いたデータ利活用のOJT データ利活用アドバイザー
事業内容	作業服、作業関連用品及び、アウトドア・スポーツウエアの販売
従業員数	約350名
事例URL	https://www.linpress.co.jp/case/02 https://www.linpress.co.jp/case/04

目的

- ✓ 自らの手で業務を自動化・簡略化できるようになる
- ✓ Pythonやデータ活用に対する社員の意欲を高める

課題

- 分析したい内容の高度化が進み、Excelによるデータ分析に限界を感じるようになった
- タスクが複雑になるにつれて独学で学んだ知識では対応が難しく、時間的にも社員に大きな負担がかかっていた
- 自分たちの中で漠然とやりたいことのイメージはあったものの、それをどう実現させていくのか分からなかった

支援の成果

- Pythonを活用し作業を自動化させたことで社員の残業時間も減り、大きなコスト削減に繋がった
- ライブラリや関数の使い方、フロー制御などの構文を学んだことで、習得したスキルを活かして自らの手でそれぞれの業務を自動化できるような社員が増えた
- 参加者からの良い評判が広がったことで、他のメンバーにも研修やデータ活用アドバイザーに参加してもらいやすい環境づくりができた



リンプレスを選んだ理由

当社の課題や実現したいことをきめ細かくヒアリングしていただき、打合せ段階の資料も非常に完成されていて分かりやすく、この会社であれば大丈夫だという安心感がありました。

研修を単発的に実施するのではなく、その後の社内活用を踏まえた長期的な支援をご提案いただいたことから、今回の導入に至りました。



お客様の声

参加者の多くはITエンジニアではない事業部門側のメンバーで、現状ではPythonを業務に使っていない初心者でしたが、当社のレベルにあったテキスト・カリキュラムを作成していただいたことが非常に印象的でした。

実施した研修内容をご紹介します

個社研修 Pythonハンズオントレーニング

期間	2日間	形式	対面（講義+ハンズオン）
人数	約10名	対象	事業部門・IT部門

OJT 機械学習を用いたデータ利活用のOJT

アドバイザリ データ利活用アドバイザリ

期間	約2週間	形式	オンライン
人数	約5名	対象	事業部門・IT部門

リンプレスが実施したこと

- ・ 講義+ハンズオン形式の演習実施
- ・ QA対応、オンラインコーチング、コーディングサポート
- ・ 振り返りおよびフォローアップ

株式会社ティーガイア（情報・通信業）

データドリブンな組織・環境づくりを目指し、ティーガイアが取り組む「データ利活用人材」の育成戦略



株式会社ティーガイア様

テーマ	<ul style="list-style-type: none"> データ利活用人材育成研修 伴走型コーチング
事業内容	携帯電話等の通信サービスの契約取次、携帯電話等の販売代理店業等
従業員数	5,111名（2025年3月末時点 連結）
事例URL	https://www.linpress.co.jp/case/06

目的

- ✓ データ利活用に関する基礎知識、推進方法を理解する
- ✓ 実務でのアウトプットに繋がるような実践的な学びを得る

課題

- データの"収集・管理"はできているが、"活用"がうまくできていない
- データ利活用の進め方自体の理解が不十分
- データ分析に必要な人材、求める役割が不明確

支援の成果

- 「シチズンデータサイエンティスト」を目指すという共通認識が生まれた
- 社内のコミュニケーションが促進され、取り組むべき課題への共通認識も持てた
- 社員が実際に抱えている課題を例題にして研修を実施したことで、自分たちがやるべきことへの解像度が上がった



リンプレスを選んだ理由

自社の課題に合わせてカスタマイズが可能だということで、我々の抱えている問題の解消に直結しやすく、短期間で解消スキルアップできる研修だと思いました。

内容以外の面でも、参加者の担当業務や役割など細かな部分まで丁寧にヒアリングしてくれたことも決め手となったポイントです。



お客様の声

経営層からデータドリブンをやるべきだと言われているもののどうやったらいいかわからないとか、どういった人材が必要かわからないとか、当社もまさにこのような状態でしたので、もう躓いたらまず相談されるのが近道だと思います。

実施した研修内容をご紹介します

個社研修 データ利活用人材育成研修

期間	半日×全6回
形式	対面（講義+ハンズオン）
対象	IT部門

OJT 伴走型コーチング

期間	約2か月
形式	対面（講義+ハンズオン+OJT）
対象	IT部門

リンプレスが実施したこと

- 講義+ハンズオン形式の演習実施
- 実データを用いたデータ分析業務の実践サポート
- QA対応、オンラインコーチング、コーディングサポート
- 振り返りおよびフォローアップ

コープデリ生活協同組合連合会（小売業）

コンサル・研修を通じて、コープデリ連合会の新たな開発標準プロセス策定と人材育成に貢献



- テーマ
- ・システム開発標準策定支援
 - ・異動者向けIT基礎トレーニング
 - ・プロジェクトリーダー研修

事業内容 宅配事業、店舗事業、福祉事業、サービス事業、保障事業、エネルギー供給事業

従業員数 1,318名（2023年3月20日現在）

事例URL <https://www.linpress.co.jp/case/03>

目的

- ✓ 現在のPMBOKをベースに新たなシステム開発標準プロセスを策定する
- ✓ 自学やOJT以外で、ITの基礎やITプロジェクト全体の流れを体系的に学んでもらう

課題

- ・システム開発における開発標準を定めてはいるが、施行から時間がたち現在の仕事の進め方と乖離している
- ・情報システム部門への異動者に対して、より効果的な教育を実施したい

支援の成果

- ・新標準プロセスを策定、運用を開始し適用プロジェクトが増加
- ・プロジェクトそのものがメンバーの育成に繋がり、マネジメント品質の向上に貢献
- ・研修を通じてDX推進に取り組む意識が高まり、業務部門との連携が強化された



リンプレスを選んだ理由

各社の提案内容を比較検討する中で、我々が作っていた開発標準とリンプレスの提案内容が最もフィットすると思いました。

公開講座にもよく参加していたので、そういった面でもノウハウを持っているのでしっかりとやってもらえそうだという安心感がありました。



お客様の声

現在、数年先を見据えた比較的大きな規模のプロジェクトが動いていますが、作成した開発標準が上手く活用されたり、研修で学んだ内容を十分に発揮して活躍することを期待しています。リンプレスには引き続き幅広く情報提供いただけると嬉しいです。

実施した研修内容をご紹介します

コンサルティング

システム開発標準策定支援

期間	6か月
形式	対面+オンライン
対象	IT部門

リンプレスが実施したこと（一部抜粋）

- ・ チームビルディング実施
- ・ プロジェクトスコープ検討・確定
- ・ プロジェクトメンバ向け弊社標準プロセス説明会の実施
- ・ 現行文書レビュー、改善案検討、成果物レビュー

公開講座

IT部門異動者向けIT基礎トレーニング「Linpress Academy」
プロジェクトリーダー基礎研修「PL教室」

お問い合わせ先

DX人材育成に関する**無料相談**を受け付けております。

貴社のご状況に応じた具体的なご提案も致しますので、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.linpress.co.jp/contact>

LINPRESS

株式会社リンプレス

TEL : 03-6821-7850

Email : info@linpress.co.jp